

## 鎮守様とカニ

むかし、むかし、北後庵きたごあんにいつも皆の幸せを願っていた鎮守様ちんじゆさまがいらつただど。

その頃ころ、大雨が降つとよく、宮川みやかわや鶴沼川つるぬまかわがあふれ、田畑いんげんの作物が被害ひがいをうけていたんだと。

鎮守様ちんじゆさまも、大雨が続くと田畑いんげんに被害ひがいがでるんであんめえかといつとも心を痛いためていらつたそうだ。

ある大雨の日に、いつものように鎮守様ちんじゆさまが村を見まわつていらつた時だど。そうしたら、また川があふれそうになつていただど。鎮守様ちんじゆさまは、

「村人に早く知らせんなんねえ。」

と思つて、大急ぎで走らつたそうだ。あんま、気いもまつただべなあ「つるつ」とすべつ